

## 第12回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日時：平成22年9月30日（木）午後2時から午後4時30分まで

場所：向日市民会館 第5会議室（3階）

出席者：

（委員）吉川会長、井垣委員、五十棲委員、大場委員、佐藤委員、永井委員、西田委員、吉田委員

（事務局）大島上下水道部長、齋藤上下水道部参事兼下水道課長、柴崎営業課長、高田上水道課長、松本浄水場長、中村浄水場主幹、山田下水道課主幹、南口営業課係長、鹿島営業課係長、阪根営業課主査

傍聴：0名

### 1 あいさつ

### 2 議事

#### 【平成21年度向日市下水道事業会計決算について】

事務局 （平成21年度向日市下水道事業会計決算についての説明）

委員 桂川右岸流域下水道建設負担金とは何か。

事務局 汚水分と雨水分があり、汚水分は、供用している洛西浄化センターの施設、機器更新等に対する負担金、雨水分は、乙訓ポンプ場の施設、機器更新等に対する負担金である。

委員 「実質収支に関する調書」についての説明を。

事務局 雨水事業のうち、地下水が出た影響で完成できなかった前田分水の工事業費を繰り越し、また、市で持ち出す一般財源についても繰り越した。その結果、11,932,887円が実質収支である。

#### 【平成21年度向日市水道事業会計決算について】

事務局 （平成21年度向日市水道事業会計決算についての説明）

委員 特別損失の過年度損益修正損についての説明を。

事務局 過年度分の漏水による減額分300万円程度と、時効による不能欠損分830万円程度があり、また、その他特別損失として、公営企業金融公庫資金の繰上償還の補償金として930万円程度がある。

委員 水道使用料の時効は2年か。

事務局 時効は2年だが、下水道の使用料とあわせて、帳簿上5年で時効としている。しかし、債権として放棄はしていない。

委員 今年度、未納金はどれくらい増加したか。

事務局 平成21年度分としては、平成22年5月現在、収納率が97.8%で、約2,780万円を未納金として繰り越している。

委員 公営企業会計の場合、企業債は資本金になるのか。

事務局 国が見直しをしているとのことであり、借入資本金が負債に分類されることになると思われる。

委員 収入が減っているのはなぜか。

事務局 節水機器の普及、少子高齢化、節水意識の向上など、生活習慣の変化により水の使用量が減っていることが原因と考えられる。

### 【向日市水道ビジョンの素案について】

事務局 (向日市水道ビジョンの素案 第1章から第3章までの説明)

委員 実際の給水人口が、計画給水人口と離れているが、計画を変更することはあるのか。また、第5次向日市総合計画との関連については。

事務局 現在、計画変更の認可をとることは考えていない。第5次向日市総合計画との関連については、これから財政計画等を立てていく中で関連付けていきたい。

委員 国にも水道ビジョンがあるのか。

事務局 まず国が「水道ビジョン」を作り、それから各事業体に「地域水道ビジョン」を策定することが求められたという経緯がある。

- 委員 向日市水道ビジョンは、市民に周知するのか。
- 事務局 パブリックコメントを実施する予定であり、策定後はホームページ、広報紙での周知を行う。
- 委員 1人当たりの給水量や人口など、10年後の見通しはどのようにするのか。
- 事務局 第5次向日市総合計画に合わせる。
- 委員 類似市町村と偏差値で比較しているが、現状や課題は把握できているのか。
- 事務局 他の事業体とP I（業務指標）で比較するのがわかりやすいと考え、情報提供のあった事業体と比較をしている。
- 委員 類似事業体のデータが少ないので、比較対象として選んだ理由を述べてはどうか。また、歴史をアピールしては。
- 委員 今後、施設の更新にどの程度費用をかけていくのか。また、府営水受水量を含めた供給能力のバランスをどうするのか。
- 事務局 厚生労働省は、アセットマネジメント（資産管理）を提唱し、法定耐用年数にとらわれない、施設の効率よい運用を求めている。その考えに基づいた財政計画を考えていきたい。
- 委員 飲料水という観点からのアピールを。また、給水人口一人当たり配水量が少ないのはなぜか説明するべき。
- 事務局 水道水は、ペットボトル飲料よりも水質検査項目が多く、より安全である点などはアピールしたい。給水人口一人当たり配水量が少ないのは、工場が少ないため、京都府の市町村で下から2番目である。
- 委員 低い方がいい指標については、分かりやすくする工夫が必要では。
- 事務局 優劣がすぐわかるように、偏差値表示を使用した。偏差値50を上回っている場合は、類似事業体に比べて優れている。本市の指標は、巻末に2～3年分を掲載し、矢印の方向で優位性を表す予定である。